

令和5年度 清水中学校区小中連携研修会



日時：令和5年6月19日（月）

13:50～16:45

（受付 13:40）

場所：鹿児島市立清水小学校

令和5年度 清水中学校区小・中連携研修会

1 日 程

| 時 間 | 研修内容 | |
|-------------|---|---|
| 13:40～13:50 | 受 付 (正面玄関) | |
| 13:50～14:35 | 授業参観 | |
| 14:35～14:50 | 移 動 | |
| 14:50～15:50 | ☆ 研究協議 (体育館) 進行(福永) (1) 開会のあいさつ (5分) 清水小学校長 竹下 健一郎 (2) 授業者説明 (3分) (3) 清水小の取組 (7分) (4) グループ協議 (30分) (5) グループごとに発表 (10分) (6) 閉会のことば (5分) | ☆ 校長部会 (校長室) ☆ 保健指導部会 (家庭科室) 『基本的生活習慣の共通実践事項等』 保健主任, 養護教諭等 ☆ 特別支援教育部会 (図書室) 『特別支援学級の現状と課題等』 特別支援コーディネーター等 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <協議題> 「小中のつながり」を 意識した授業における ICTの効果的な活用 について </div> | |
| 15:50～16:00 | 休 憩 | |
| 16:00～16:45 | ☆ 全体会 (体育館) (1) 指導講話 (40分) 鹿児島市教育委員会 中熊 信仁指導主事 永田 千章指導主事 (2) 閉会のあいさつ (5分) 大龍小学校長 原口 雅也 | |

2 グループ分け (Fはファシリテーター, Rは記録者)

| 各部会名 (会場) | 清水中 | 玉龍中 | 大龍小 | 清水小 |
|--------------------|---|-----------------|----------------|------------------------|
| 校長部会 (校長室) | 中山 恭平 | | 原口 雅也 | 竹下健一郎 (F) |
| 保健指導部会 (家庭科室) | 中村 寿和子 | 太鼓 真之輔 岩川 陽子 | 川畑 耕作 澤田 成子 | 宇井千夏子 (F) 小野池篤志 (R) |
| | 松木田美紀, 大田 智子【清水小】 | | | |
| 特別支援教育部会 (図書室) | 垂野 幸乃 | 二宮 義弘 | 松岡 恭弘 古川真理子 | 浦本 正史 (F) 平 初恵 (R) |
| | 前田 望, 染川真由美, 草木迫ひろ美, 永濱 美貴【清水小】 | | | |
| 研究協議Aグループ (体育館) | 池田 稚加 (F), 松永 良太 (R), 小島 清華【清水小】, 重野 健次【清水中】 古市 正直教頭【玉龍中】 | | | |
| 研究協議Bグループ (体育館) | 中島 玲奈 (F), 東 愛里 (R), 坂上 太志【清水小】, 中川 千穂【清水中】 松元 智宏【玉龍中】, 田畑 里那【大龍小】 | | | |
| 研究協議Cグループ (体育館) | 川上 博輝 (F), 山崎絵里奈 (R), 福永 梨紗, 久保 玲佳【清水小】 国分 玲奈【清水中】, 穂満久美子【玉龍中】 | | | |
| 研究協議Dグループ (体育館) | 鮫島洋一郎 (F), 有留 毅 (R), 橋本 寛, 大久保順子【清水小】 東 章弘【清水中】, 出森大祐【玉龍中】 | | | |
| 研究協議Eグループ (体育館) | 田代 浩之 (F), 西 麻加里 (R), 森木 雅子, 木田 智子【清水小】 竹下 麻美【清水中】, 竹内絵理香【玉龍中】, 栗國 好美【大龍小】 | | | |

令和5年度

清水中校区 小中連携研修会



困り感！

- 小学校では、タブレットをどの程度使えるようになればよいのか？
- 調べ学習以外で、授業におけるICTの効果的な活用の仕方を知りたい！
- 中学校区で、持ち帰り状況をそろえたほうがいいのか？

みんなでアイデアを出し合い、課題を解決しよう！

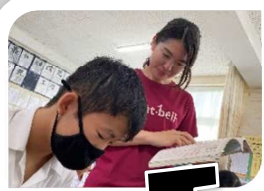


〈国語科〉

6年1組 西 麻加里教諭

国語科「私たちにできること」

自分たちのテーマに対する現状と課題を思考ツールに整理してから、対話活動に取り組みます。



〈学級活動〉

6年2組 松永 良太教諭

学級活動「友達のよさについて考えよう」

ニコニコ月間の取組で、友達のよさについてロイロノートで一人一人の考えを集約し、全体で共有しながら話し合います。



Let's Try !!

〈特別支援教育〉

すみれ3組 永濱 美貴教諭

国語科「つながり言葉のはたらきを知ろう」

板書の工夫やICT機器等を使って思考の見える化を図り、異学年による学び合いを行います。



〈理科〉

6年3組 有留 毅教諭

理科「植物のからだのはたらき」

予想の状況把握や感想の集約を、ロイロノートのアンケート機能を使って子供たちに提示します。



☆来年度の小中連携研修会の参考にしますので、
右のQRコードから、アンケートへの御協力を
よろしくお願いいたします。



| | |
|--|-------------|
| 学校名 | 鹿児島市立 清水小学校 |
| 授業におけるタブレット活用の現状と課題 | |
| <p>1 タブレット活用の現状</p> <p>(1) 学習</p> <p>全教科でタブレットの活用を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ デジタル教科書の提示。・ シンキングツールを活用した思考の整理。・ 提出箱に自分の考えを提出することで、友達との考えの共有化を図る。また、あとで見直すことで教師の評価も実施しやすい。・ 教科書のQRコードを読み取って映像や資料の活用。・ 国語科の自分の考えを文章にまとめる活動において、ロイロノートで構成メモを作成後、そのメモを活用した文章作成が時間の省略化につながった。・ 理科の時間に、四季による植物の変化を見るために、写真で撮影しスライドにまとめている。・ 総合的な学習の時間の調べ学習や発表スライドの作成。 <p>(2) 休み時間</p> <ul style="list-style-type: none">・ タブレットのルールを示し、全学年、共通して指導ができるようにしている。休み時間は、今年度より、前後の学習時間の続きのみ許可する形式にしている。(昨年度、学習に関係するものは利用可と限定していたが、タイピングゲームにはまってしまい、依存している児童が多かったため。) <p>(3) 学習以外</p> <ul style="list-style-type: none">・ アンケートの実施。<ul style="list-style-type: none">→ クラブ活動の希望調査や「学校たのしいーと(4年生以上)」をロイロノートでカードを配布し、回答させている。集計する手間が省くことができる。・ 委員会活動やクラブ活動での活用。<ul style="list-style-type: none">→ 児童が、新聞やお知らせを作成し、印刷したものを掲示している。アリロやプログラミングゲーム、プログラミングの作成。 <p>2 タブレット活用における課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ タブレットを活用する教師側のタブレット活用の理解。・ 教師の目が届きにくいところで、教師が想定しない抜け道から、許可されていないサイトに繋がっていることがある。・ 教室間移動の際にタブレットを使用し画面が割れる、保管庫にコードが挟まれてしまい破損するということがあり、タブレットの扱いが乱雑になってきている。 | |

| | |
|---|-------------|
| 学校名 | 鹿児島市立 大龍小学校 |
| 授業におけるタブレット活用の現状と課題 | |
| <p><タブレット活用の現状></p> <p>【教科】 全教科でタブレットの活用を行っている。</p> <p>【時間】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 授業の導入・展開・終末それぞれにおいて、必要なときに使用している。○ 雨の日の昼休みに限り、タブレットを使用していることにしている。ただし、タイピングゲームや端末内のアプリに限り、それ以外は禁止している。○ 昨年度は、冬休みにタブレットを持ち帰り、高学年でナビマの宿題を出した。理科については、「月の観察」など長期休み以外でもタブレットを家に持ち帰り、観察記録として活用している。 <p>【目的・内容】</p> <ul style="list-style-type: none">○ ロイロノートの活用による学習活動の効率化<ul style="list-style-type: none">・ 提出箱機能による、児童の考えの交流・ シンキングツールや共有ノートを活用した考えの整理や分類・ アンケート機能を活用した振り返り・ テスト機能を活用した学習内容の定着度の確認・ 提出箱を活用した評価・ カメラで撮ったプリント等の配布○ 調べ学習などでのインターネット検索○ 教科書のQRコードやNHK for schoolなどからの動画の視聴○ 自分の考えを発表するためのスライドなどの作成○ Teamsを利用したオンライン（遠隔）授業 <p><タブレット活用における課題></p> <ul style="list-style-type: none">○ サファリアプリが児童用タブレットに配信されたことで、youtubeやゲームなどもできるようになってしまい、児童が閲覧しているサイトの把握が難しくなってしまった。また、教員の目を盗んで遊んでいる児童もいる。<ul style="list-style-type: none">→ i-FILTERによるブラックリスト(閲覧禁止にしたいWebページ)の作成ができるようだが、児童が閲覧しているサイトの把握が難しく、対応が困難である。・ 教室外での使用や持ち帰りなどを行っていたので、画面の破損や充電器の紛失もあった。(今年度よりタブレット用のバッグを学校で統一し、購入した。)・ ノートとの使い分け等、タブレットのさらなる有効的な使用の在り方。 | |

清水中学校区 小・中連携研修会協議資料

| 学校名 | 清水中学校 |
|--|-------|
| 授業におけるタブレット活用の現状と課題 | |
| <p data-bbox="167 474 550 510"><u><タブレット活用の現状></u></p> <ul data-bbox="167 571 1404 1422" style="list-style-type: none">・国語…ロイロノート（意見集約と比較，シンキングツール，アンケート） インターネット活用による新聞づくり等の資料作成 習字→筆運びの確認・社会…ロイロノート（資料配布，考察，提出，共有ノートの活用，アンケート） 動画視聴・数学…ナビマ（デジタルドリル）←問題演習の時間として設定，夏休み課題 ロイロノート（グループ学習，共有ノートの活用）・理科…生物などの動画視聴・英語…ALT との授業でタブレットを使ったゲーム，言語活動 ロイロノート（資料配布，スピーチ原稿作成，提出）・美術…校内スケッチ大会で写真をとる。 資料調べ（2年ポスター制作時，3年自画像制作時：背景やテーマを深める）・家庭…ロイロノート（裁縫実習の動画を撮影し配信，班の話し合いをまとめ共有， 作品や写真の提出）・音楽…ロイロノート（調べたことをまとめ発表），デジタル教科書を使って作曲・特別支援学級…e ボード，ナビマの活用・道徳…ロイロノート（資料配布，アンケート，共有ノートの活用）・生徒会活動…アンケート，総会資料の共有，専門部活動の意見集約 <p data-bbox="167 1478 646 1514"><u><タブレット活用における課題></u></p> <ul data-bbox="167 1579 1420 1993" style="list-style-type: none">・一斉活用，回線が重くなる。・ナビマの活用が不十分。・タブレットの保管場所や充電のしにくさ。・機器トラブルへの対処がすばやくできない。・話し合い活動でロイロ等使いたいが，時間がかかるわりに深まらない時がある。 （ローマ字入力等，不慣れな生徒も多く，手書きの方が早い）・インターネットを使った調べ学習では，内容をよく理解しないまま情報を活用してしまふことがあり，深まらないことがある。・特別教室まで運ぶ時，落下や破損。 | |

| | |
|-----|----------|
| 学校名 | 鹿児島玉龍中学校 |
|-----|----------|

授業におけるタブレット活用の現状と課題

<タブレット活用の現状>

ICT 活用を研究の副主題に立て、全職員で協働してチャレンジしています。

1 研究主題

「主体的・対話的で深い学びを実現する指導と評価の一体化」

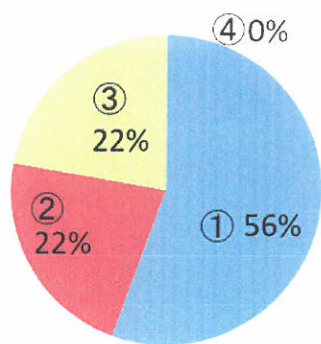
～ ICT を活用した個別最適化された授業授業作り ～

2 年間計画

- 4月10日 情報教育 (Google for Education、ロイロノートなど ICT 活用について)
- 5月17日 **ロイロノートを活用した研究授業** 2年社会「地域調査の手法」教諭 穂満久美子
- 6月19日 小中連携
- 6月28日 学力分析会
- 8月29日 学力分析会
- 12月25日 学力分析会
- 1月26日 **ロイロノート実践報告会** (各教科実践したことを共有し、対話し、深い研究へとつなげます)



ロイロノートの活用方法
 ア 前時の復習、資料の確認テストを行う
 イ 説明資料を手元のタブレットで見る
 ウ 各自使用する資料を呼び出し、手元で拡大して使用する。【資料箱】
 エ ワークシートをカメラで撮影し提出する
 オ 他の人の意見を見て多角的・多面的に考察する。【比較】



- ① 毎時間活用している
- ② 単元の内容に応じて活用している
- ③ あまり活用していない
- ④ 活用していない

ロイロノートなど、ICT 機器を授業に活用していますか？

アンケート実施日 R5 6/8・9

多くの先生が ICT を活用しています。

<タブレット活用における課題>

1. navima などを活用した個別最適な学びに関する課題(家庭でタブレットを使って学習したくなるような授業展開、宿題の在り方)
2. ロイロの裏でどんな Web を開いて遊んでいるか分からない点が課題です。
3. 明らかに必要がない授業の際などにタブレットを開いている生徒がいる。
4. タブレットを使ってゲームをしているとの声 (他の生徒からの指摘あり)。
5. 中学生の段階では紙の辞書を活用して欲しいと思っているのですが、タブレットの検

索を活用する生徒もいて、使い分けをどのように指導すればよいか悩んでいます。

6. 資料提示・共有，小テスト等の実施，動画や英作文などの提出，質問や添削依頼，生徒用デジタル教科書の活用，情報検索などにおいてタブレットおよびアプリケーションを活用している。
7. 課題としては，生徒の活用スキルによって進捗が大きく変わる現状を改善したいと思っている。特にタイピング能力は影響が大きい。タブレット用のペンがあれば，解消する部分かもしれない。また，タブレットの充電や保管等の環境整備も急務かと考える。使わせたいけど，快適に使える環境でないと，使い勝手が悪いものに成り下がり，十分な活用を教師も生徒もしにくくなる。
8. 体育では，体育館の wifi 環境が良くないため，使用できていない現状があります。また，外での活動でも使用しづらい状況です。
9. 学年や教科によって活用状況に差があるので，ミニ研修等を実施して職員・生徒が積極的に活用できる環境を整えていく必要がある。
また，デジタルシティズンシップ教育を推進し，タブレット端末の使用についてみんなで考える機会を増やしていきたい。
10. 持ち帰りの際の宿題の出し方。navima を宿題に出してみたが，家庭のネットワークではリンクが機能しなかった。
11. ネットワーク問題
12. 充電不足
13. 活用しやすい単元とそうでない単元がある。
14. タブレットの不具合が出た時に，その生徒の復旧をしようと思うと時間がとられる。
かといって不具合を放っておけばその生徒にとって不利益になる。
15. 家に持って帰ってからの使い方が悪く（夜遅くまで使っている，学習以外の使い方を
する）保護者からの苦情のもとになる。
16. よくない使い方（授業中や休み時間にゲームをするなど）をする。
17. タブレット端末を活用した授業と家庭学習をどうつないでいくか。
18. 生徒にどこまで自由に使用させるか。
19. タブレットの活用の有効性は感じているが，教材研究が追い付かない。

<タブレット活用による DX>

1. ロイロノートやクラスルームなど，生徒は小学生の時から使い慣れているため，操作方法を教えたりなどの手間はかからない。中1からでも使うことはできる。
2. ロイロは道徳や教科で多角的・多面的な意見を一瞬で集約できるので，時間の節約になる。
3. ワークシートの提出等をロイロで行うことによって，教師側が好きなタイミングや場所
で評価できるし，評価材料をストックするのに便利である。
4. 一度作った教材や，生徒の意見カードなどを次年度以降も使える。
5. アンケート等はロイロを使うようになり，省資源化に役立つ。集約も簡単。
6. ロイロノートのエクスポート，インポート機能を使って，過年度の道徳資料を新学年
に引き継ぐなど，DXにも役立っています。

<小中連携研修会まとめ>

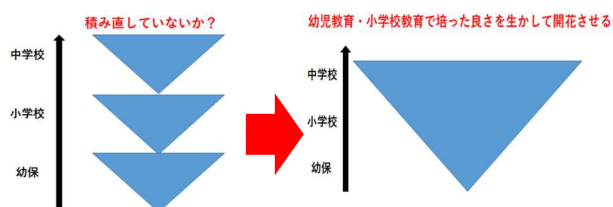
小中接続という視点で見直す、小中連携の在り方

1 本中学校区の実態

小中連携は、「中1ギャップ」など学校間の円滑な接続に係る課題解決の観点に加え、9年間を通して「生きる力」を着実に育む観点から全ての教育活動において、系統的な指導が重視されている。

しかし、本中学校区では、学習指導において、ICTの活用や家庭学習の在り方等、中学校区で共通理解、共通実践ができていない現状があった。

その結果、右の図のように本来、小学校で培ったスキルを生かして、中学校で更に高い学習活動を行わなければならないのに、中学校でも小学校と同じスキルを再度積み直しているという大きな課題が見られた。



2 取組の実際

ア 課題把握とテーマ設定

本中学校区の課題について、年度始めに、各学校でアンケートを実施したところ、授業におけるタブレットの活用が学校によって差があり、中学校で再度レディネスを揃えてから学習活動を行っているという課題が明確になった。

そこで、推進委員会において、本中学校区の学習重点テーマを「『小中のつながり』を意識した授業におけるICTの効果的な活用について」と設定し、限られた時間の中で、話し合う内容を絞って、小中連携研修会を実施した。

イ 6年担任による授業提供

当日は、6年生の全学級でロイロノートを活用した授業参観を行った。中学校では、調べ学習以外でタブレットを活用していないという実態もあったので、国語科でシンキングツールに考えを整理したり、理科でアンケート機能を使って、予想や感想を集約したりする授業を参観した。

授業参観を通して、情報活用能力に関しては、小学校で「情報の比較や分類の仕方」を習得する段階、中学校で、「情報と情報との関連付けの仕方」を習得する段階というように系統的に指導を行うことの大切さに気づき、この後の研究協議の論点となった。



ウ 課題を焦点化した話し合い

限られた時間の中で、小中の職員同士の対話を重視した研究協議を行った。昨年までは、生徒指導部会や保健指導部会等、複数の部会に分かれて共通実践事項を決めていたが、今回は、1つの協議題に絞って、課題を焦点化して、各学校での授業での実践例や課題について多くの意見を出し合った。その際、子供たちと同じように、ロイロノートの「PM表」に意見を整理しながら協議を進めることで、教師自らICT



の効果的な活用の仕方を実感しながら進めることができた。

また、それぞれのグループから出された解決策をスクリーンに提示し、比較・分類することで、中学校区で共通実践していく内容を全員で共通理解できた。

| 課 題 | 改 善 策 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">授業→板書・ノートとタブレットの活用の使い分け。Safariが入ったことにより、YouTubeやゲームを見るようになってしまった。 →持ち帰りを無くした。授業の中で活用する時間の確保。短縮につながれば良いが、時間がかかってしまう。中学校は、カバーがないため、持ち運びが難しい。 | <ul style="list-style-type: none">タブレットのルール →抜け道の内容に学校の実態に応じたルールをつくる。 →持ち帰りをするなら、家庭との連携が必要不可欠。 →Safariの制限をどのようにかけていくか。タブレットバックを全校で購入した。情報共有にロイロを使うのは効果的。修学旅行の自主研修の報告でteamsを活用した。 |

3 成果と課題

これからは、中1ギャップの解消のために、9年間を見通した教育課程の編成を中学校区で行っていく必要がある。しかし、業務改善を進めていかなければならない中で、どうやってその時間を見いだしていくのか、どこの学校でも喫緊の課題である。また、中1ギャップの内容も、学習支援であったり、いじめ対策であったり、不登校への対応であったりと多種多様である。それをすべて解消する時間もなく、手が回らなくなるのが実状である。やはり、焦点化が必要であり、課題と目標を明確化しながら進めていかなければならない。

まだまだ、課題は山積しているが、今後も有効な小中連携の在り方を模索しながら、子供が9年間を通して「生きる力」を着実に育むことができるように努めていきたい。